令和元年度 旭区運営方針を策定しました!

運営方針とは…… 各年度における区役所の基本目標および目標達成に向けた施策や組織運営の方向性を明確にし、それを区役所内で共有しながら、区役所一丸となって目標の実現に取り組むために策定しているものです。

基本目標

子育て世代をはじめ多くの方々に
選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現
～「安心」「健やか」「ふるさと」～

令和元年、旭区は誕生５０周年を迎えます。
この間、水･緑･花に触れ合える豊かな地域資源や、歴史ある文化･スポーツなどの活動を通じてつながりを深め、安心と温もりのあるコミュニティーを育んできました。50周年を迎える今、超高齢社会の到来とともに、子育て世代などが減少し、少子化が進んでいます。一方で、相鉄･JR直通線の開業を控え、大きな飛躍に向けて期待が高まっています。
旭区は、区民の皆さまとともに課題の解決に取り組み、地域で安心して健やかな生活を送れるまちづくりを推進していきます。
さらに将来を見据え、企業･団体、学校など多様なパートナーと連携し、複合課題の同時解決による「SDGs未来都市･横浜」の郊外部モデルとなる取り組みを進めるとともに、50周年を機に、旭区の魅力を発信することにより、子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現を目指します。

旭区の魅力
（平成30年度旭区区民意識調査結果）

●「旭区の最も誇れること」
→第１位:大規模な公園など
（ズーラシア、里山ガーデン、こども自然公園）
●高い定住意向
回答者の約8割が「これからも旭区に住み続けたい」と回答

▲里山ガーデン

▲こども自然公園

旭区の取り組み

安心・健やかな暮らしの推進

▲ジュニアボランティア活動

▲防災訓練

▲防犯キャンペーン

▲交通事故防止運動キャンペーン

▲ハチ駆除ボランティア活動

▲あさひ子育て･保育園ひろば

▲旭区ふれあいスポーツ大会

▲ウォーキングフレンズ講座

「SDGs未来都市・横浜」郊外部モデルの創造

多様なパートナーシップにより複合課題を解決する大規模団地再生モデル構築事業や、住民主体のまちづくりに企業･大学が新たに参画するSDGsモデル事業、SDGsの実現に向けて地域で活動する団体などとの協働によるSDGsの普及啓発などを推進します。

持続可能な開発目標の略称であるSDGsは、国連サミットで採択された２０３０年までの達成目標です。「誰一人取り残さない」を基本理念とし、全ての関係者による経済･社会･環境における複合課題の同時解決を目指しています。

▲若葉台団地における
オンデマンドバス実証実験

▲左近山団地に入居する
大学生による地域支援活動

50周年を機に「選ばれ続けるまち」へ魅力継承・発信

旭区誕生50周年を機に、50年で育んだ旭区の魅力の再認識と水･緑･花を通じた新たな魅力づくりを区民の皆さまや企業･団体の皆さまとともに取り組み、発信します。

▲井上 太耀さん作
（「未来の旭区」をテーマにした小学生絵画コンクール最優秀作品）

▲公園愛護会の皆さまによる
里山ガーデン会場での花植え

詳細はホームページまたは区役所2階23番窓口で配布している旭区運営方針をご覧ください。 横浜市旭区　運営方針　検索

問企画調整係 ☎954-6026 fax951-3401